

尊敬する劉立清会長及び張春林秘書長

丁重なるお見舞いと激励のお手紙をお送りいただき、まことにありがとうございました。

このような大災害ですので、お互いの安否を確認するための電話等でトラフィックが輻輳し、通話困難な状態が依然として続いております。

そのため、特定の電話にかけお互いの通話を録音し再生しあうことにより安否確認等が無料でできる「災害用伝言ダイヤル」を利用できるようにしているほか、優先的に接続する「公衆電話」を無料で使えるようにするとともに、避難場所等には、同様の特設公衆電話を設置するなどして、被災者等の不安を少しでも取り除くよう努めております。

また、携帯電話による電子メール交信も効果を発揮しています。

災害の状況も徐々に明らかになりつつある段階ではありますが、全国からの相互応援も行いながら、ライフライン事業者の使命を果たすべく日夜を徹して復旧活動を行っております。

また、貴国からも早速救援隊がかけつけてくれ、精力的に救援活動を行なってくれていることに対し、深く感動いたしますとともに感謝を申し上げます。

この災害で被りました傷が、少しでも早く癒え、貴協会との交流が再開できることを心待ちにしております。

電気通信協会会長      宮津純一郎  
専務理事                岡村 敏光

20011年3月15日